

【 傾斜を使った運動遊び 】



まずは乗り物の玩具を手に持ち、坂道に見立てて遊び始めた。乗り物と一緒に上ったり下ったり往復して遊ぶ。



加速をつけて斜面を上がり、その勢いのまま下ってスピード感を楽しんでいる様子。



低月齢児はずりばいの姿勢で傾斜をよじのぼる。マットの淵に手をかけると踏ん張りやすそうな様子。体をくねらせながら上る。



腕に力を入れて体を支え、ハイハイの姿勢で慎重に下ってくる。



【環境のデザイン】

◎準備したもの 傾斜マット 抗菌フロアマット

・安全に体を動かせるように広いスペースを確保する。

【気づき・振り返り】

高月齢児も低月齢児も、発達に合わせてそれぞれ傾斜の上り下りを楽しむ姿が見られた。マットの不安定さに慣れずはじめは戸惑う姿も見られたが、保育者が手を支えることで上り下りができ、繰り返しているうちに一人でできるようになる姿もあった。傾斜を上った際嬉しそうに笑う姿も見られ、「できた」「上れた」という感情が生まれていたのが印象的だった。段差や高低差のある遊びなどを通して体を存分に使って遊べる機会を設けていきたい。

園名 キッズハーモニー・NEWoMan

令和8年3月13日(木)

【すくわく 運動遊び EVAベビーベンチ、どこでもベンチ】



↑座ってみたよ！



←歩いてみよう！



↓まねっこしてみよう！

座ってみよ
うかな♪



座れたよ！

座ってみたり、歩いてみたり、またがってみたりと、それぞれがすすんでベンチに親しんでいた。友だちの姿を見て真似してみたり、またがって座る子どもが増えてきたタイミングで普段保育中に楽しんでいる『バスごっこ』をうたいながら、みんなで楽しむこともできた。

高月齢児は保育者と手をつながなくてもバランスをとってベンチの上を歩くことができていたので、長い平均台、細い平均台も使用して楽しんでいきたい。

環境デザイン
・ベンチ（2種類）

園名 キッズハーモニー・NEWoMan

令和8年1月22日(木)

【 階段を登り降りをして、身体を動かすことを楽しむ！ 】



何度も繰り返し楽しんでます！



階段の順番を変えてみると、最初は少し苦戦しながらも、楽しくあそびはじめています！



低月齢の子どもたちも全身を使って登ろうと



クッションの感触を手で確かめてからあそびはじめる姿も見られました！



普段はあまり活発でない子どもも、積極的に参加してくれています。

マットあそびが大好きな子どもたちなので、階段マットが登場すると大喜びで階段の登り降りを楽しみ始める姿が見られた。高月齢の子どもたちは、慣れた様子であそびはじめていたが、普段と違うふわふわしたマットの感触が楽しいようで、繰り返しあそんでいた。低月齢の子どもたちも、積極的に階段を登ろうとする姿がみられ、たくさん身体を動かすことができた。午後からは階段を並べる順番をアレンジしてみると、また新鮮な様子であそぶことができ良かった。常設したりしながら、引き続き楽しんでいきたい。

環境デザイン
・はいはいマット

【 すくわく運動遊び（1歳低月齢児） 】

はいはいマット



環境デザイン
・はいはい
マット

柔らかくて乗ると少し沈む



バランスを取りながら
ゆっくり上体を起こしてみる



立てた！自分でもビックリ！



遊び方特に指定せず、子ども達にお任せに。
階段は歩行・スロープはハイハイで遊び始める子ども達。
低月齢児なので言葉はまだたくさんは話せないが、お互いの姿を見て真似しながら遊ぶ。



場所の共有ができるようになったことで、一緒に遊んだり触れ合うことも楽しめている。



高さのあるものに乗ると手が届くことを発見！

園名 キッズハーモニー・NEWoMan

2025年11月4日(金)

【 すくわく運動遊び（1歳低月齢児） 】

トランポリン



叩いて音や感触を確認



並べておくと連続ジャンプ

積み重ねて置くとよじ登ってみようとする



子ども達の「やってみたい！」を見守り
サポートし、一緒に喜ぶ。



ちょっと怖いけど先生と手を繋げば大丈夫！

お友だちが登っているのを見て「やりたい！」と挑戦し頭上にあるハロウィンのカボチャにタッチ！

その様子をまた別の子が興味を持って見ている。



【環境デザイン】

・トランポリン3つ

【振り返り】

・トランポリンの感触や叩くと音が出ることに気付く様子があった。怖がっていた児も保育者のサポートに安心すると、挑戦しようとする姿があった。

【 すくわく運動遊び（1歳低月齢児） 】

高さを調節するネジやマットに興味津々！



【環境デザイン】

- ・鉄棒
- ・マット

近づいてじっと見たり、触って確かめる。手全体を使ったり指先を使って満足・納得するまで触れてみる。他児が熱中する姿を見て好奇心を持って見る姿も見られた。



腕を伸ばしても届かない。 近くの保育者に目線で手助けを求める。『できた！』

側に寄り添うことで、その子が今何をしたいのか、どんな手助けを求めているのかが見えてくる。必要に応じた援助を行うことで、子ども達の意欲や達成感・満足感を引き出す。



保育者が支えて、ぶら下がる感覚を体験したことで、自分でもやってみようとしている。感覚を思い出し、膝を曲げてみたり上体を反らしてみたりしている。足を持ち上げることへたどり着きぶら下がる感覚を楽しんでいた。

【すくわく運動遊び(安全マルチ平均台・どろんこミゼットバギー)】



新しい用具に喜んで乗りたがる。少し大きいもののしっかりハンドルを握って地面をけりながら進める。従来のもの(コンビカー)より高い位置に手が置けるため前のめりにならず



自分の好みに合わせて乗りたい物を選択し、運転することを楽しむ。後ろにつかむ場所がない分友だちを加速させて押す遊びに発展せず、しっかり前を見ながら運転できていた。



安全マルチ平均台では長くつなげるにより落ちないように集中して取り組む力が育まれた。高さがないことや幅が広いため一人で挑戦しやすく、「できた!」と自己肯定感を育みながらそれぞれ好んで遊ぶ。少しずつ長さを出してスタート位置とつなげていくことで繰り返し遊ぶおもしろさを感じながら取り組んでいた。かにさん、へびさん、といいながら進みなりきることも楽しんでいた。また別日で木製の高さのある平均台を出すと安全マルチ平均台と両方を行き来しながら楽しむ姿があり、「こっちはちょっとむずかしい!」と言葉にしたりそれぞれの違いを感じているようだった。カラフルな色にも惹かれる姿があり、色を指しながら同じ色を見つける遊びも楽しんでいた。



環境デザイン
・平均台・トランポリン・バギー

園名 キッズハーモニ・NEWoMan

令和 8 年 2 月 16日 (月)

【 すくわく運動遊び 】



環境デザイン…はいはいマット・平均台
トランポリン・マット



両手を広げて慎重に渡る
平均台の丸部分の色を見て「赤から」「青から」とスタート
する方向を伝えると、すぐに理解して遊ぶ



平均台はまっすぐのほかにもジグザグなど形を変えると、興味を持って渡っていた。



動物の耳の被り物をつけ、ジャンプをしながら動物の動きや「がおー！」などの言葉を使ってなきる



繰り返しジャンプをしたり、近くにいる友達と顔を見合わせて一緒に遊ぶ時間を楽しんでいる。

運動遊具が常設してあると、遊びと遊びの間に体を動かして気分転換をしたり、遊びの延長でトランポリンなどを使用する姿が見られた。平均台では上手にバランスがとれるようになり、速いスピードで歩いてみたり、階段も駆け下りたりと遊び方が少しずつ変化する様子もあった。2週間実施したが、後半には動物の被り物をつけて動きを楽しんだり、ごっこ遊びの延長で遊具を使う様子が多く見られた。遊びの中で歌を歌ったり、数を数えて順番を変わったり遊びの中で友達とのコミュニケーションをとる機会も増えたと感じる。引き続き保育室内に運動スペースを用意し、それぞれの使い方を楽しめるようにしたい。

園名キッズハーモニーNEWoMan

2025年10月9日(木)

【 しゃぼん玉遊び 】



2人ずつ椅子に座り、ストローを吹いてしゃぼん玉遊びを行います！



どの子どもそれぞれの発達にあった、遊び方で楽しむことができました



テラスでは手持ちの大きな棒とストローの両方で遊べるように環境設定をして、個々が好きな方を選んで楽しめるようにしています



自分でやってみたい！と思えるような環境で、どの子ども積極的に遊んでみようとする様子が見られました



「みてみて！」と嬉しそうに見せてくれたり、「みてね！」と見せようとしてくれています！

子ども達がそれぞれの発達の中で意欲的に遊んでみようとする姿や様子が見られて、2歳児の月齢に合った活動だった。ストローで吹く前に、ティッシュを口で吹くことで分かりやすく動きを伝えることができた。保育の中でしゃぼん玉遊びを継続して、楽しさをより感じたり遊びを発展させていきたい。

園名キッズハーモニーnewoman

令和 7 年 10 月 14 日 (火)

【 科学遊び・サイエンスショー 】



空気砲を体験した。目の前で空気を浴びて驚く様子があったが空気の強弱を身体を使い感じていた。



手の汗により、フィルムでできた人間が動いていく。自分の掌の上で動いていく様子を見てなんで動いているの？と探究心でいっぱいです。



3色の色を言葉で表現し風船の感触を触れながら重さを感じていた。

【環境をデザインする】

準備したもの
空気砲・フィルム・3色風船・シャボン玉液・シート
科学のおもしろさ、不思議さを感じ探究を深める。

【気づき・振り返り】

サイエンスショーでは様々な現象を視覚・感覚的に体験でき、主体的な探求の動機付けとなった。子供たちのやってみたいを起点に探求を深めていった。子供たちのつぶやきや発送を拾い上げながら主体的に考え感じ表現していくことができた。



同じ大きさのシャボン玉の中に入り中から見える様子を言葉にして表現をしていた。

園名 キッズハーモニー・NEWoMan

2025年2月20日（金）

【 シャボン玉で遊んでみよう 】



シャボン玉液を付ける量を変えたり、なくなるとシャボン玉が出来ない事に気付いていた。



大きなシャボン玉を作る為には、どのように吹いたらいいか試す姿が見られていた。



「みて。おおきいのができたよ」と喜びを共有していた。

【環境をデザインする】

準備したもの

シャボン玉液、シャボン玉を作る物（7穴、1穴、個別）

探求心を深める為、見通しのよい場所を実施。



見通しのよい公園でシャボン玉をした。シャボン玉の行く先を目で追う姿が見られていた。

【気づき・振り返り】サイエンス

ショーを通して、シャボン玉への興味、関心を深める事で、試してみたり、観察する意欲が高まり、一つ一つの色の違い、吹き方、長さで大きさが変わるなどに気付く事へと繋がった。

また、友だちとシャボン玉を見せ合ったり、自分の思った通りのシャボン玉が出来た際に、喜びを共有する姿が見られていた。